

企画提案書等評価基準

1. 実績評価(50点)

・様式2「業務実績書」により、平成28年4月以降システム導入団体における小中学校におけるタブレット型端末によるコンピュータ教室の整備、及びセンターサーバの構築・運用実績により、対応した点数を付与する。なお、5団体以上の実績がある場合は最高点を付与する。

2. 価格評価(250点)

・5年間の費用総額で、最低価格提案者を250点とし、他の業者は250点×(最低価格/見積価格)とする。※様式3「見積書」より評価を行う。なお、小数点以下の端数は切り捨てとする。

3. 機能評価(300点)

・「(機能要件回答書)小中学校コンピュータ教室用機器一式にかかる要求機能について」により評価を行い、対応の可否について「○」「△」「×」及び記載内容により採点する。合計点数により順位を決定し、それに対応した評価点を付与する。

4. 企画提案書及びプレゼンテーション評価(400点)

・以下の項目について、各審査員が項目ごとに評価(10点満点×倍数)を行い、合計点数の平均(小数点以下の端数は切り捨て)を点数とする。

分類	評価項目
1. 提案全体	・本業務内容を十分に理解し、ICT教育の環境の変化に対応した、システムの全体像と構成が具体的に示されているか。
	・提案内容が明確でわかりやすいものであるか。
2. 取組体制	・本プロジェクトの実施体制、管理体制が必要十分な体制となっているか。
	・プロジェクト管理者の経験や実績は充分か。
3. センターサーバ構築	・セキュリティ対策が十分に講じられた信頼性、安全性のある内容が提案されているか。
	・今回整備するコンピュータ教室における端末や既設の校務用パソコン等が遅延なくスムーズな通信環境が実現できているか。
	・将来的な統合型校務支援システムの導入やサーバ機能の追加等、機能拡張が可能なシステムであるか。
	・今後の業務改善に貢献する付加提案がされているか。
4. コンピュータ教室システム	・使いやすさに配慮し、効果的にソフトを組み合わせているか。
	・コンピュータ教室に導入するプロジェクター等の機器と、授業支援システムを効果的に活用した提案ができていないか。
	・運用方法が具体的に示され、教職員及び児童生徒の積極的な活用に資する提案となっているか。
	・プログラミング教育の実施にあたって具体的な授業提案があるか。
	・新学習指導要領の内容に沿って、英語科など各教科の指導に資する提案となっているか。
	・普通教室や校内での無線LAN環境以外での活用方法について具体的な提案ができていないか。
・本教育委員会が想定する機能以外で、効果的な自由提案があるか。	
5. 保守、支援体制	・ICT支援員の活用について、具体的な提案がなされているか。
	・ハードウェア、ソフトウェアのサポート体制が十分であり、その後も迅速かつ適切な対応が期待できる具体的な内容が示されているか。
	・センターサーバ設置者として、既設稼働環境との調整や障害発生時の対応を主体的に取り組む姿勢が示されているか。
	・ハードウェア、ソフトウェアを授業等で効果的に活用するための提案や課題解決等の研修など、教職員への支援の体制が示されているか。
6. 技術力、開発・供給能力	・学校現場からのシステムに関する全般的な問い合わせ窓口が一元化されているか。
	・プロジェクト全体の管理手法、進捗管理が具体的に示されているか。 ・構築スケジュールが、予定している期日内で無理なく稼働可能となるように示されているか。